

the LEGENDS

人生をかけて、異国の地・日本に來られた歴代の宣教師～レジェンド：立役者～。
その命がけの情熱によって、キリストと出會える恵みに預かっている現代の私達。

今回、日本AG教団・組織創立の原点である、ジュールゲンセン師ご一家のご長女、
〈マリア・ジュールゲンセン師〉をご紹介します。日本宣教の召命を胸に父母と共に
來日し、少女の頃から主に仕え、日本人に仕えて下さった《レジェンド》の一人です。



特集

マリア・ジュールゲンセン師

〔戦前～戦後の激動の時代、愛と平和の福音宣教〕

霊に満たされ、示された日本へ

マリア・ジュールゲンセン師。カール・フレデリック・ジュールゲンセン師の長女として1902年誕生。アメリカ・クリーブランドにて聖霊のバプテスマを受け、恵みに満たされた母フレデリケ師と父カール師。「主のためにどこへでも参ります！」との祈りに、神様から「Japan! : 日本へ」と語られたそうです。導きを祈る中、フレデリケ師に与えられた幻を通して、日本宣教の召命を受けとったカール師は、ただ神様のみに頼り、あてもなく知人もいない日本への渡航を決意されました。

一家は、娘のマリア師とアグネス師を連れてアメリカを出港し、天洋丸での13日間の航海を経て、1913年(大正2年)8月11日横浜に入港。マリア師、その時12才。カール師の路傍伝道の通訳を14才から始められました。

伝道には、上野や浅草周辺まで出かけて行くこともあり、聴衆は200～300人程集まりました。帝国大学の近くに店舗を借りて、伝道の拠点となる福音館に改造しました。3年間に3つの福音館が開設され、救いのメッセージが語られていきました。

当時書かれた、アメリカの兄弟姉妹へのカール師の手紙にはこのように記されています。

『集会前に私たちは日本人のクリスチャン一団と福音歌を歌い、太鼓を叩きながら、近所に集会を知らせるため道を行進しました。また2、3か所で集会前に路傍伝道をしました。2、3人が倒れ、多くが主の幻を見ました。毎晩12時近くの別れの時、彼らの顔は輝いていました。3人の大切な

魂が使徒行伝2章4節の洗礼を受けました。ハレルヤ!』

日本AG発祥の神召キリスト教会、誕生

2年間の休暇を終えたマリア師ご一家は、1924年に再来日。前年9月に起きた関東大震災の影響で、焼け野原になった都心から滝野川町に拠点を移し、天幕伝道が開始されました。1925年、カール師の多大な尽力により神召キリスト教会の敷地を購入。その地で数週間にわたり天幕伝道が行われ、1927年10月に待望の献堂式がなされました。

神召キリスト教会の主管牧師として任ぜられた弓山喜代馬師により、1929年から伝道者養成のため、聖霊神学校(現・中央聖書神学校の前身)が開始されました。マリア師と妹・アグネス師は弓山氏と共に神学校で教鞭をとって下さいました。マリア師は、戦後3年目の1948年に再来日され、1950年の中央聖書学校の設立、及び伝道者養成に情熱をもって貢献して下さいました。

同年、神召教会の青年たちの働きにより、十条商店街にて、青空日曜学校が開始されました。マリア師と弓山師により現在の土地が購入され、その年には教会堂を建設。十条基督教会としての伝道の働きが本格化していきました。



▲ご一家が來日された天洋丸
(出典：mccjag, 「消えることのない宣教の炎」より)



写真左：C.Fジュールゲンセン師ご一家
〔後列〕マリア師、アグネス師
〔前列〕フレデリケ師、カール・F・ジュールゲンセン師

【マリア・ジュルゲンセン宣教師 略歴】

1902年 C.F.ジュルゲンセン師の長女として誕生
1913年 日本に渡来(12歳)
1924年 関東大震災翌年、再来日/天幕伝道開始
1925年 北区滝野川に土地購入
1927年 神召キリスト教会、献堂
1937年 神召キリスト教会にて「いずみ保育園」創設
1940年 8月 父・C.F.ジュルゲンセン師、召天
1941年 日米開戦のため帰国
1948年 再来日/十条商店街にて青空日曜学校を発端とし、十条
基督教会、献堂/武蔵野市西窪(後、武蔵野キリスト教会)
と板橋区志村(後、志村キリスト教会)にて家庭集会開始



1949年 日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団、設立
1953年 新中野キリスト教会、献堂/中央福音会館、建設
(1962年移転し、現・中央福音教会となる)
1954年 山脇師就任と共に「志村キリスト教会」会堂を建設
1956年 保谷キリスト教会(現・西東京キリスト教会)献堂
1968年 西東京キリスト教会付属「サフラン愛児園」創設
1969-1972年 関東教区合同婦人大会・講師
1991年12月8日召天(90歳)

戦後來日したマリア師は、西窪と志村でも家庭集
会を開き、いずれも後任者の働きにより、教会とし
て、現・武蔵野キリスト教会、志村キリスト教会に
発展しています。

教会での幼児教育、開始

弓山師とマリア師の教会の将来に対する長期的な
展望により、1937年、神召キリスト教会の会堂の半
分を仕切って保育室とし『いずみ保育園』が開設さ
れました。園児たちが成長し立派な信徒になってい
ったことが、マリア師と保母であった弓山師の次
女・江草恵美子師との喜びとなりました。

さらに、1937年から翌年にかけて、マリア師の尽
力により西東京・保谷に約960坪の土地が購入され
ました。マリア師の『キリスト教の愛と精神を土台
とした、よりよい教育をこの地域の子ども達に』と
の願いにより、1968年、西東京キリスト教会(元・
保谷キリスト教会)付属の『サフラン愛児園』が創
設されました。現在50年以上の歴史を経て、1,000人
以上の卒園者を送りだし、2世3世が入園するよう
になっています。

教団挙げての天幕伝道から

第二次世界大戦後の1951年、教団挙げての新宿西
口での天幕伝道は『ジュルゲンセン師及びチェスナ
ット師が責任をもたれ、連続集会、300名の決心者
が与えられ顕著な聖霊のみ業を仰いだ』と記されて
いる(『教団時報』第16号)。これが発端となり、宣
教師の尽力を得て、1953年、100坪の土地に高円寺
教会(現・新中野キリスト教会)が献堂されました。

この時の天幕伝道でのマリア師の様子が『教団
時報』第13号「天幕伝道記」に、このように描写
されています。

『マリア師が講壇に立たれる。ヨハネ伝1章1～8
節が読まれる。或る時は流るる水の如く、或る時は
燃え上がる炎の如く、綿々縷々として上手な日本語
がほとぼしり流れる。贖罪の真理が深々と説かれて
行く。(中略)ヨハネ伝9章の生来の盲人はあなたの
精神的姿ではなかろうか。この時、神はあなたに呼
びかける。『シロアムに往きて洗へ』と。キリス
トの十字架、これはあなたの目を開くシロアムであ
ると魂に迫る。忽ち恵みの座への招待である。人々
は懺悔の思いに涙しつつひれ伏す。懇切な指導はつ
づく。心に信じ口に言い表せとうったえる。恵みの
座より立つ人々の顔は幸福そうに見えた。』

神様だけに信仰を置いて、その召命に従い、故郷
から遠く離れた未知の国・日本へ来て下さったマリ
ア師とジュルゲンセン師ご一家。お一人一人の救霊
への情熱と行動によって、私たち日本人は大いなる
確かな神様の恵みに預かることができました。

人を建て上げ、献身者を建て上げ、多くの教会を
建て上げて下さったご一家の尊い働き、又それら全
てを導かれた神様の溢れる恵みに、深く深く感謝す
るものです。

参考資料:

- ・日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団 関東教区(2003).
『神の国はこうして拡大していった 1953-2002 日本アッセン
ブリーズ・オブ・ゴッド教団関東教区50周年記念誌』. 関東教区50
周年記念誌・編集委員会、ペーテルフォト株式会社.
- ・日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団(1999).『みことばに
立ち、御霊に導かれて～教団創立50周年誌～』. 日本アッセン
ブリーズ・オブ・ゴッド教団・教団史編纂委員会、ペーテルフ
ト印刷株式会社.
- ・日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団・関東北東教区
(2013). “C.F.ジュルゲンセン師来日100年記念～消えること
のない宣教の炎～”. mcccjag. <https://youtu.be/0eV3L0Ek-Io>



▲ 伝道の拠点となった福音館



▲ 日本AG教団創立総会。

今回、主に参考にさせていただいた映像：
「C.F.ジュルゲンセン師来日100年記念
～消えることのない宣教の炎～」
必見です！(日本AG・HPに掲載あり)

